※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（土）韓国朝鮮語１	2	１～４年次	高校生のための韓国朝鮮語 新　好きやねんハングルⅠ

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生徒の積極的な授業への取組を重視します。
・様々な教材を通じて、「読む」「聞く」「書く」の３要素を総合的に学習します。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	日常的なあいさつや簡単な指示を理解することができる。 ゆっくりはっきりと話されれば、自身の身の回りのことに関する会話や説明を理解することができる。	日常生活で使われる韓国朝鮮語の中の語句や簡単な文章を理解することができる。	相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて聞き返したり意味を確認したりすることができる。 簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。	自分に関する基本的な情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる。	情報や考えなどを韓国朝鮮語で話したり書いたりすることができる。	他者と韓国朝鮮語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

月	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
4月 5月	韓国朝鮮語と ハングルについて	聞くこと	a: 基本単語の発音を聞き取ることができる。 b: 音韻変化の規則を聞き取ることができる。 c: 基本単語や音韻変化の規則を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 基本単語を正しく読むことが出来る。 b: ハングルの表記や法則性や原理について理解できている。 c: ハングル表記の原理について、歴史を含め理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 基本単語を正しく発音することができる。 b: 音韻変化の規則に則った発音ができる。 c: 意欲を持って話すことや発表に取り組めている。	観察 発表
		書くこと	a: 日本語の固有名詞のハングル表記について理解できている。 b: 基本単語を組み合わせて簡単な文章を書くことができる。 c: 自分のことや身の回りのことを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）

※令和４年度以降入学生用

5月 6月 7月	【文字と発音】 1.基本母音 2.基本子音 3.有声音化 4.頭音法則 5.激音 6.濃音 7.パッチムと連音 8.閉鎖音のパッチム	聞くこと	a: 基本母音・子音の発音を理解し、有声変化や頭音の規則を聞き取ることができる。 b: 激音や濃音、パッチムを聞き取ることができる。 c: 様々な発音の規則を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 文字と発音の関係を理解して、正しく読むことが出来る。 b: 連音や閉鎖音とパッチムとの関係について理解できている。 c: パッチムの有無による表記の違いを理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 基本母音・子音やパッチムを正しく発音することができる。 b: 激音や連音、閉鎖音と組み合わせ正しくパッチムの発音ができる。 c: 意欲を持って話すことや発表に取り組めている。	観察 発表
		書くこと	a: 文字と発音の関係を理解して、正しく書くことが出来る。 b: 連音や閉鎖音とパッチムとの関係を正しく書くことができる。 c: 自分のことや身の回りのことを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
7月	中間考査			
8月 9月 10月	9.轟音のパッチム 10.流音のパッチム 11.子音同化 12.複合母音	聞くこと	a: 轟音や流音のパッチムを聞き取ることができる。 b: 子音同化や複合母音を聞き取りその役割について考え、表現することができる。 c: 発音の違いによる言語表現の違いを聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 轟音や流音のパッチムを正しく読むことが出来る。 b: 子音同化や複合母音について理解できている。 c: ハングル表記の原理について、歴史を含め理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 轟音や流音のパッチムを正しく発音することができる。 b: 子音同化や複合母音を正しく発音できる。 c: 意欲を持って話すことや発表に取り組めている。	観察 発表
		書くこと	a: 子音同化や複合母音について理解できている。 b: 轟音や流音のパッチムを用いた文章を書くことができる。 c: 自分のことや身の回りのことを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
11月 12月 1月	【会話と文法】 1.名詞句 2.名詞句と否定の尊敬 3.用言文 4.数詞、疑問視 5.運用形	聞くこと	a: 名詞句や用言文、数詞の発音を聞き取ることができる。 b: 否定の尊敬や疑問視、運用形の発音を聞き取り、その役割について考え、表現することができる。 c: 会話と文法の関係を理解しながら聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 会話に必要な文法を正しく読み取ることが出来る。 b: 会話に必要な文法の法則性や原理について理解できている。 c: 会話文の意味を正しく読み取ろうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 名詞句や否定の尊敬表現を正しく発音することができる。 b: 正しい文法知識に裏付けされた会話を行うことができる。 c: 意欲を持って話すことや発表に取り組めている。	観察 発表
		書くこと	a: 簡単な文章を書くために必要な文法知識やその表記方法について理解できている。 b: 基本単語を組み合わせて簡単な文章を書くことができる。 c: 自分のことや身の回りのことを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
1月	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度